

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

2019年10月～12月期

第95回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - (1)前期比 前期比(令和元年7月～令和元年9月比)
  - (2)前年同期比 前年同期比(平成30年10月～12月比)
  - (3)来期見通し 来期見通し(令和2年1月～3月見通し)
5. 業種別の景気動向
  - (1)製造業
  - (2)建設業
  - (3)卸売業
  - (4)小売業
  - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

# 1. 実施概要

## (1)回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	129社
回答率	25.8%

### (業種別)

製造業	37社
建設業	26社
卸売業	12社
小売業	21社
サービス業	33社
合計	129社

## (2)実施時期

2019年10月～12月期

## (3)調査内容

調査対象の第3四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

## (4)調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

## (5)調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

## 2. 調査結果(DI)

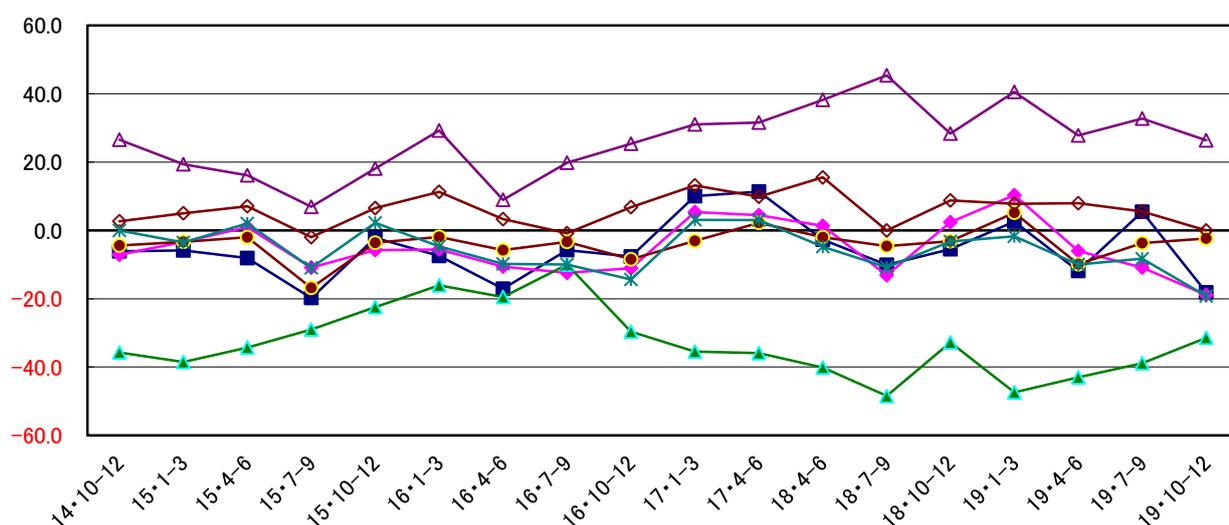
DIとは(景況判断指数)とは

DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

売上DI = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)  
 採算DI = (好転 " ) - (悪化 " )  
 資金繰りDI = (好転 " ) - (悪化 " )  
 仕入価格DI = (下落 " ) - (上昇 " )  
 雇用状況DI = (不足 " ) - (過剰 " )  
 設備投資DI = (拡大 " ) - (減少 " )  
 業況DI = (好転 " ) - (悪化 " )

前年同期比(全企業DIの4か年の推移)



	14・10-12	15・1-3	15・4-6	15・7-9	15・10-12	16・1-3	16・4-6	16・7-9	16・10-12	17・1-3	17・4-6	18・4-6	18・7-9	18・10-12	19・1-3	19・4-6	19・7-9	19・10-12
■ 売上	-6.1	-5.9	-8.1	-19.8	-2.2	-7.5	-17.1	-5.8	-7.6	10.0	11.4	-2.7	-10.1	-5.5	2.6	-11.9	5.5	-18.1
◆ 採算	-7.1	-3.4	1.0	-10.9	-5.8	-5.6	-10.6	-12.4	-11.0	5.4	4.5	1.3	-13.1	2.4	10.3	-6.0	-10.9	-18.9
● 資金繰り	-4.4	-3.4	-2.0	-16.8	-3.6	-1.9	-5.7	-3.3	-8.5	-3.1	2.3	-2.0	-4.6	-3.2	5.2	-9.9	-3.7	-2.4
▲ 仕入価格	-35.7	-38.5	-34.3	-29.0	-22.5	-16.0	-19.5	-10.0	-29.7	-35.4	-35.9	-40.1	-48.4	-32.8	-47.4	-43.0	-38.9	-31.5
△ 雇用状況	26.6	19.3	16.2	6.9	18.1	29.3	8.9	19.8	25.4	31.0	31.6	38.3	45.4	28.4	40.5	27.8	32.7	26.4
◇ 設備投資	2.7	5.0	7.1	-2.0	6.5	11.3	3.3	-0.8	6.8	13.2	9.9	15.5	0.0	8.8	7.8	8.0	5.5	0.0
* 業況	0.0	-3.5	2.0	-11.0	2.2	-4.7	-9.8	-10.0	-14.4	3.1	3.0	-4.8	-10.8	-3.3	-1.7	-10.0	-8.3	-19.2

### 3. 概況

#### 改善されない仕入価格上昇と人手不足

##### (1) 今期の特徴

前期比で見ると、仕入価格の上昇と雇用状況の不足が以前として改善されていない状況となっている。

上記2項目のDIは全業種でマイナスを示しており、経営に大きな影響を与えている。また、前年同期比で見ると、売上・採算・業況DIが大幅にマイナスとなる結果となった。

##### (2) 来期の見通し

ほとんどの業種で数値の悪化を予想する結果となった。全体として新型コロナウイルス感染症の影響を懸念しており、現状既に影響が出ている業種もある。

小売業においては、売上増加という結果となった。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を懸念する意見も見られ、新型コロナウイルス感染症の影響がどのように経済に影響を及ぼすかを注目していく必要がある。

##### (3) 経営上の問題点

1位「需要の停滞」、2位「従業員の不足」、3位「熟練技術者(従業員)の不足」という結果であった。

前回の結果と比較すると、1位、2位は変わらず、3位が「人件費の増加」から「熟練技術者(従業員)の不足」と変化しており、順位も5位から3位となった。

各業種を見てみると、製造業では「熟練技術者(従業員)の不足」が5位から2位となり、全体としても熟練者と従業員の不足が問題となっている。

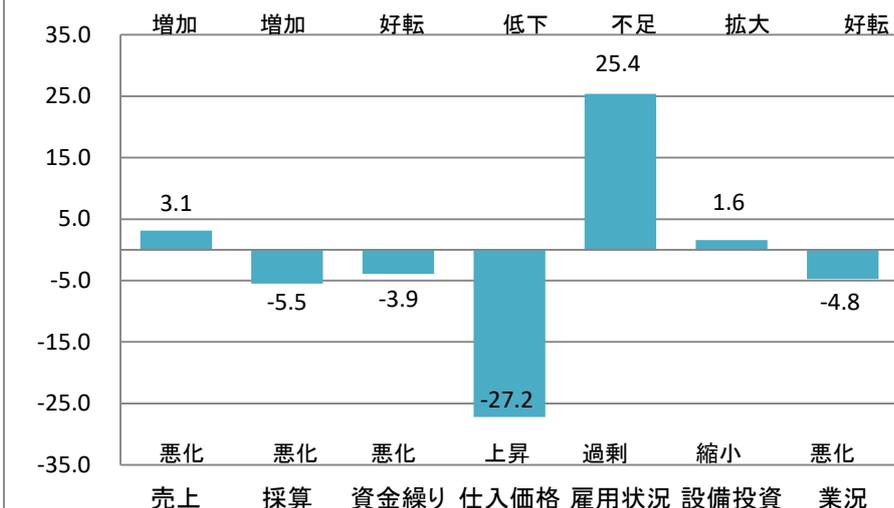
##### (4) 今後の対応策

1位「生産性を向上させたい」、2位「新規市場を開拓したい」、3位「その他の合理化を実施したい」という結果となった。

各業種で見ていくと、製造業では「生産性を向上させたい」が3位から1位となり、全体で見ると「従業員を新規雇用したい」が順位を上げる結果となった。

#### 4. 県内の景気動向(全業種)

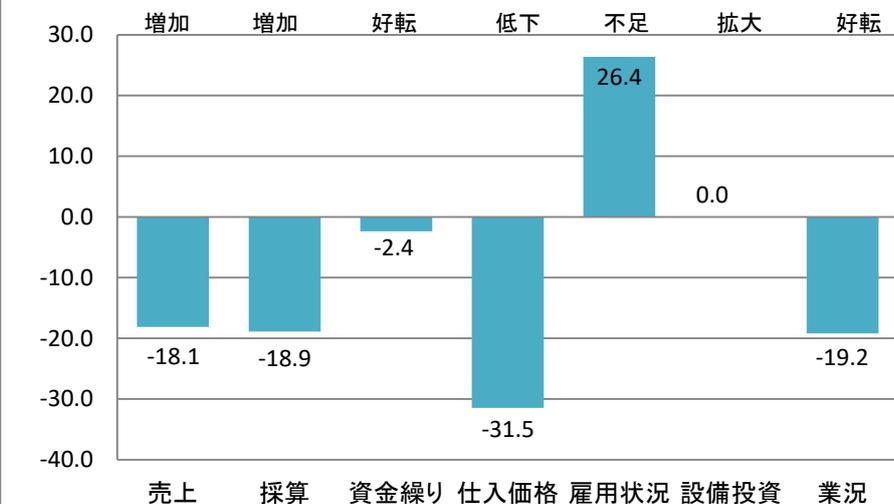
前期比(令和元年7月～令和元年9月比)



前期と比較すると、売上DIと設備投資DIでプラスを示すが、その他は、マイナスを示す結果となった。

仕入価格DIと雇用状況DIは20ポイントを超えており、全業種で大きな問題となっている。

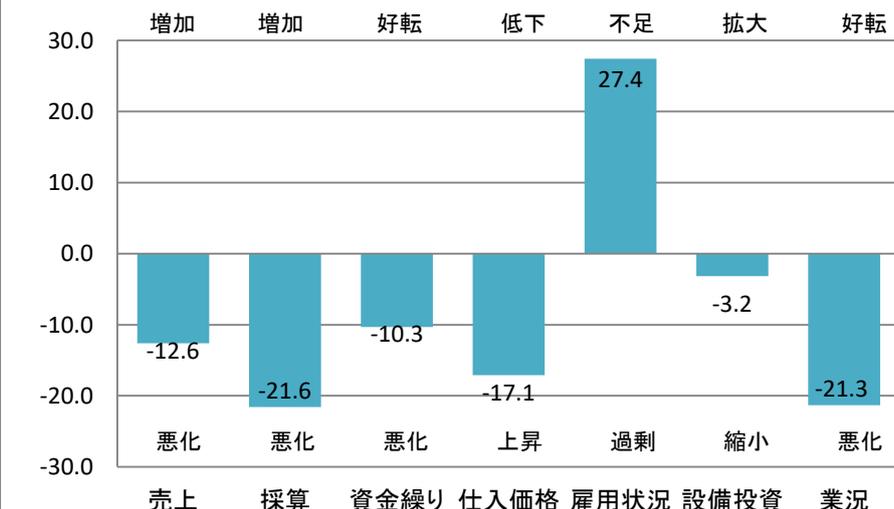
前年同期比(平成30年10月～12月比)



前年同期と比べて、全項目で大きくマイナスを示す結果となった。

仕入価格DIと雇用状況DIは依然として25ポイントを超えており、売上DI、業況DIIについても2桁のマイナスを示している。

来期見通し(令和2年1月～3月見通し)



来期の見通しについて、全体としてマイナスを示す結果となった。

特に採算DIと業況DIが20ポイントを超えた。

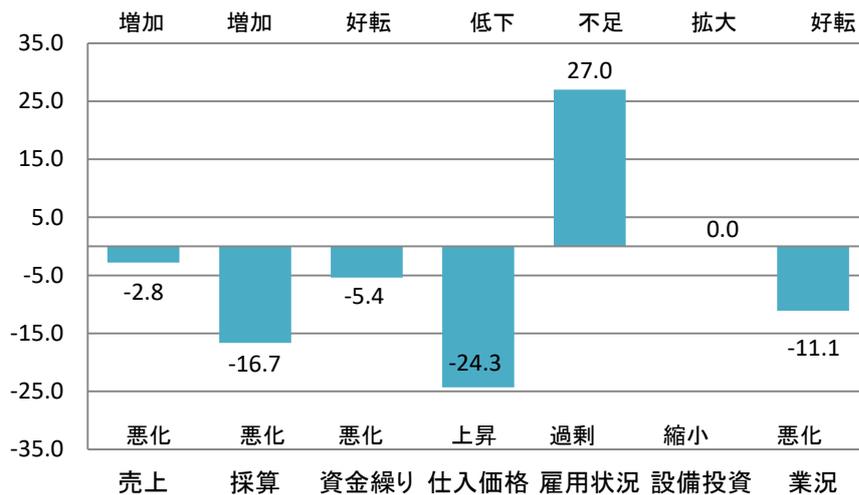
売上DIがプラスとなった業種は小売業だけであった。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け始めており、経済活動の冷え込みを懸念する意見が多くみられた。

## 5. 業種別の景気動向

### (1) 製造業

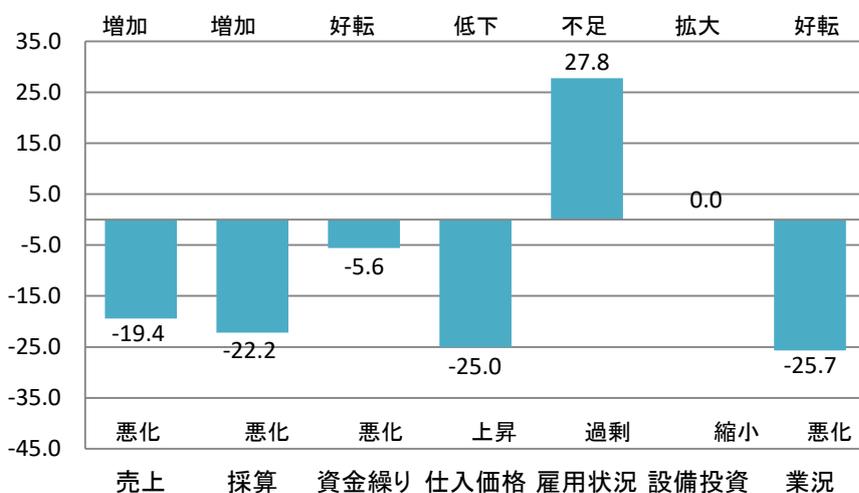
前期比(令和元年7月～令和元年9月比)



前期と比較して、全てにおいてマイナスを示す結果となった。

製造業全体として、製造量が減少しており、売上・採算・業況DIが悪化している。

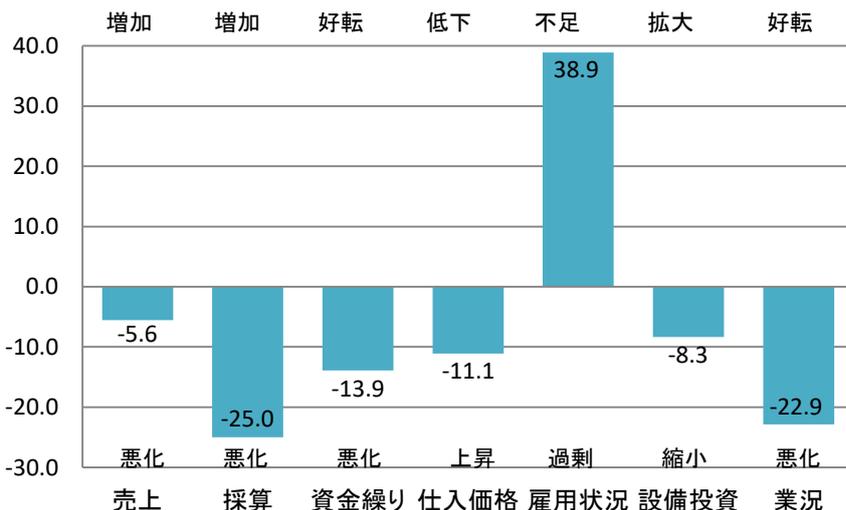
前年同期比(平成30年10月～12月比)



前年同期と比較して、全体としてDIが悪化する結果となった。

消費税増税の影響とともに、新型コロナウイルス感染症の影響もあるとの意見がみられた。

来期見通し(令和2年1月～3月見通し)



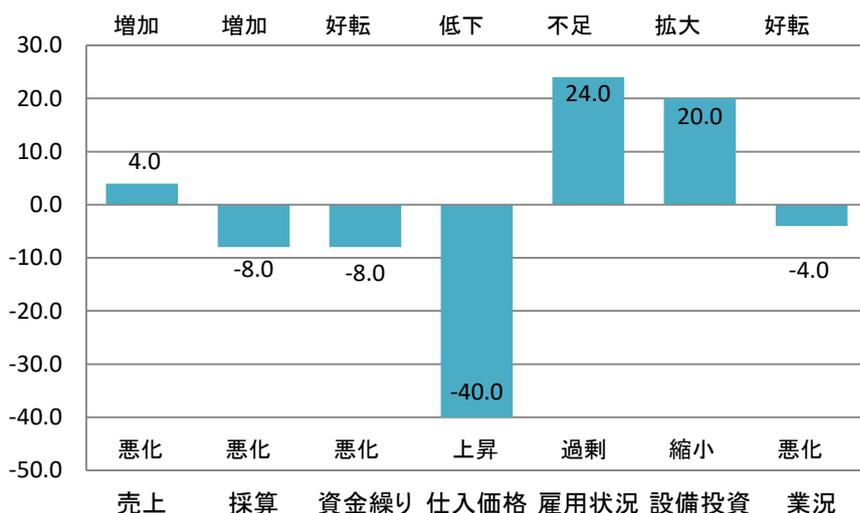
来期見通しとして、大幅に数値が悪化する結果となった。

新型コロナウイルス感染症の影響がでてきており、原材料が入りづらくなっているといった意見や、経済の鈍化を懸念する意見もみられた。

## 5. 業種別の景気動向

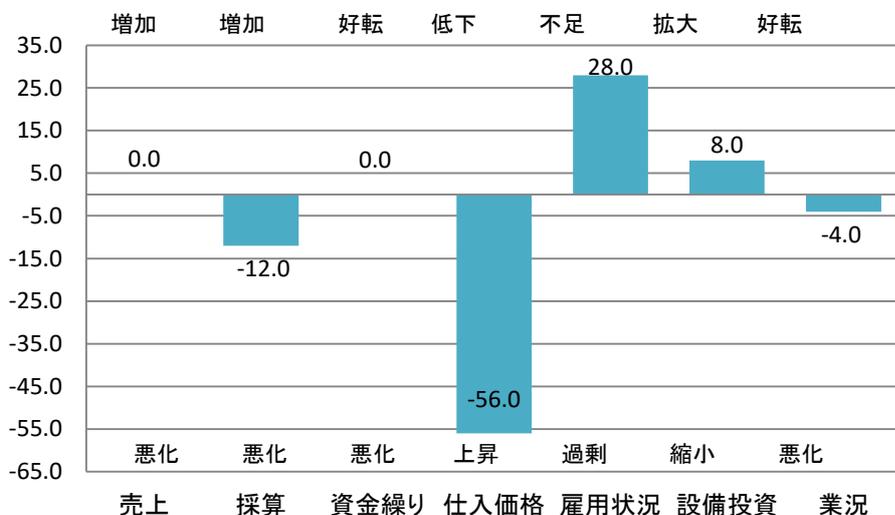
### (2) 建設業

前期比(令和元年7月～令和元年9月比)



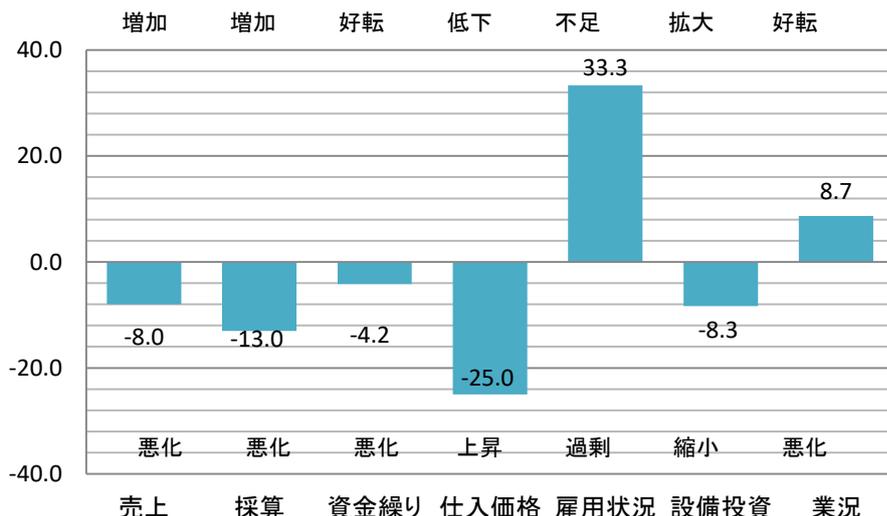
前期と比較して、売上と設備投資DI以外は悪化を示す結果となった。民間工事の受注の安定が売上DIが増加した要因として挙げられる。しかし、仕入価格は大幅に上昇している。

前年同期比(平成30年10月～12月比)



前年同期と比較すると、不変と回答する事業所が多く、仕入価格は大幅に上昇する結果となった。工事の入札改革による受注不振という意見もみられた。

来期見通し(令和2年1月～3月見通し)

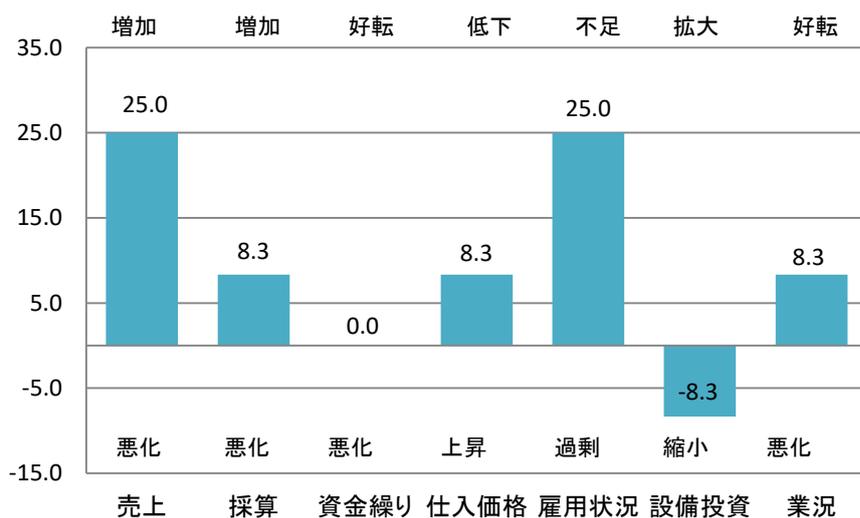


来期の見通しとして、受注減少を懸念する意見も見られ、また雇用状況DIが大幅に不足を示す結果となった。

## 5. 業種別の景気動向

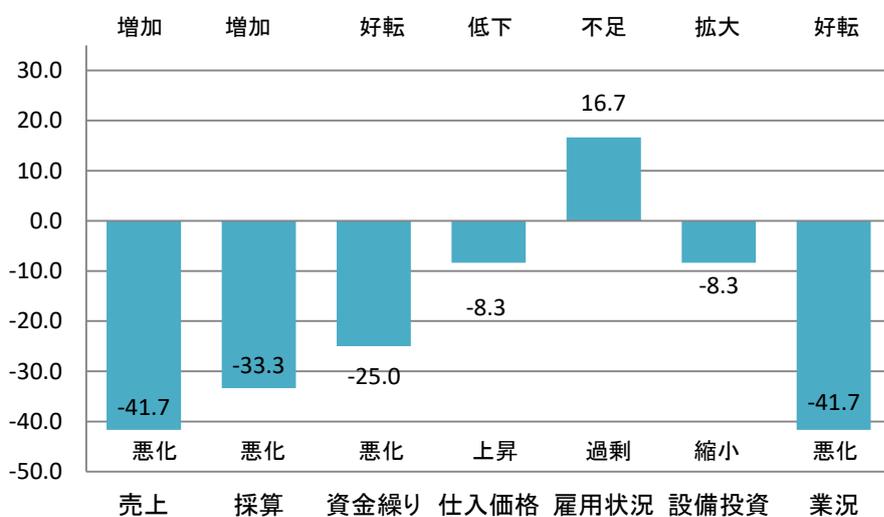
### (3) 卸売業

前期比(令和元年7月～令和元年9月比)



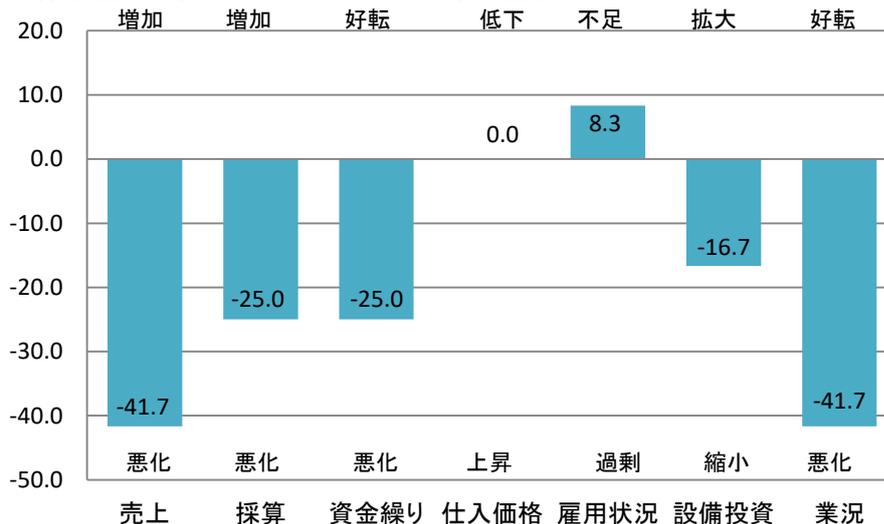
前期と比較して、雇用状況DIと設備投資DIを除いてプラスを示している。理由としては、年末年始となるため、繁忙期となる業種が多くなることが挙げられる。

前年同期比(平成30年10月～12月比)



前年同期と比較すると、全体として数字が大幅に悪化する結果となった。消費税増税による消費の冷え込みを悪化の理由として挙げている。

来期見通し(令和2年1月～3月見通し)

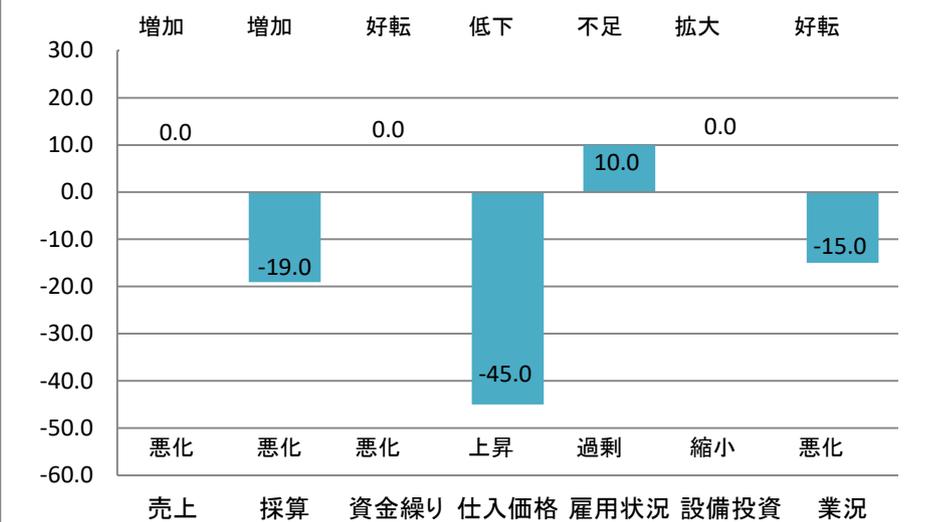


来期の見通しとして、新型コロナウイルス感染症の影響で悪化するという意見が多くみられた。また、気候の影響により需要の減少も悪化の原因として挙げられている。

## 5. 業種別の景気動向

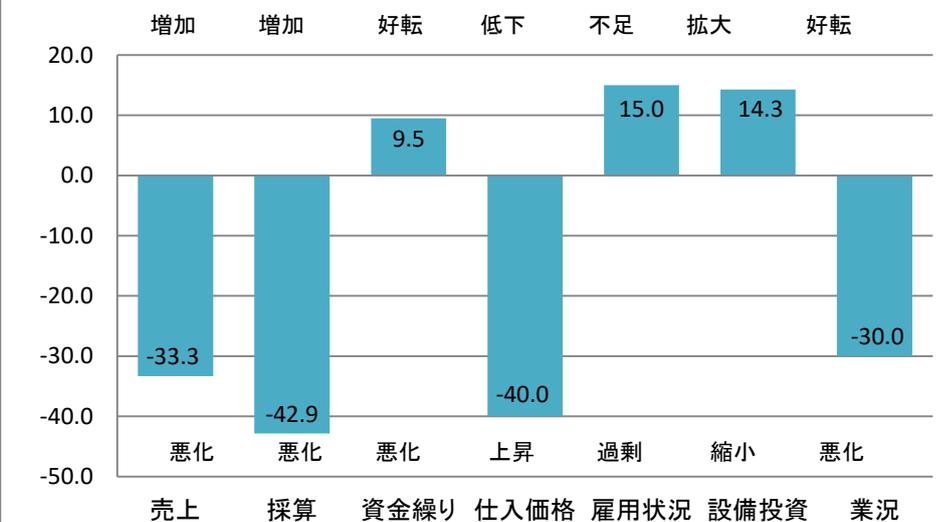
### (4) 小売業

前期比(令和元年7月～令和元年9月比)



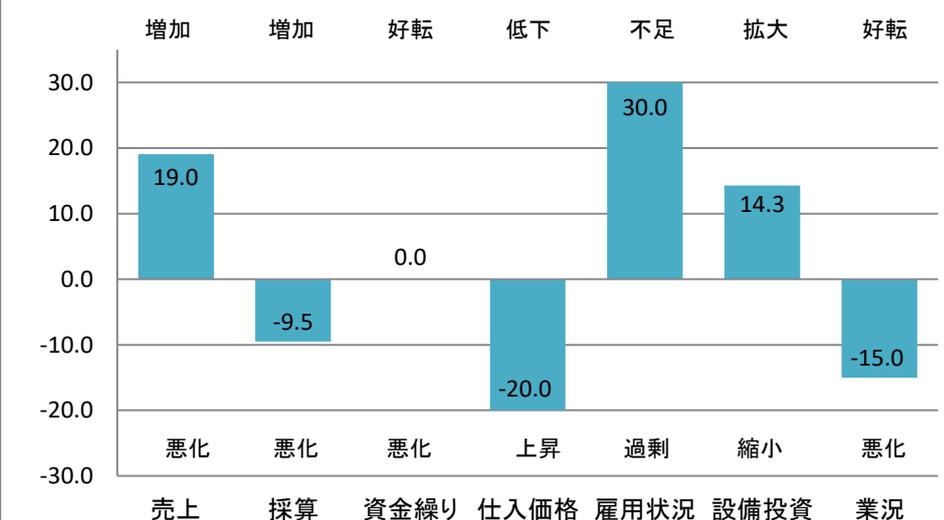
前期と比較すると、仕入価格DIが大きくマイナスとなる結果となった。  
また、消費税増税の影響により、客数の減少や販売機会の損失があったという意見がみられた。

前年同期比(平成30年10月～12月比)



前年同期と比較すると、売上、採算、業況が大幅に悪化する結果となった。  
気温が前年と比べて暖かい状況となったことも食料品小売や石油小売の事業では影響を受けている。

来期見通し(令和2年1月～3月見通し)

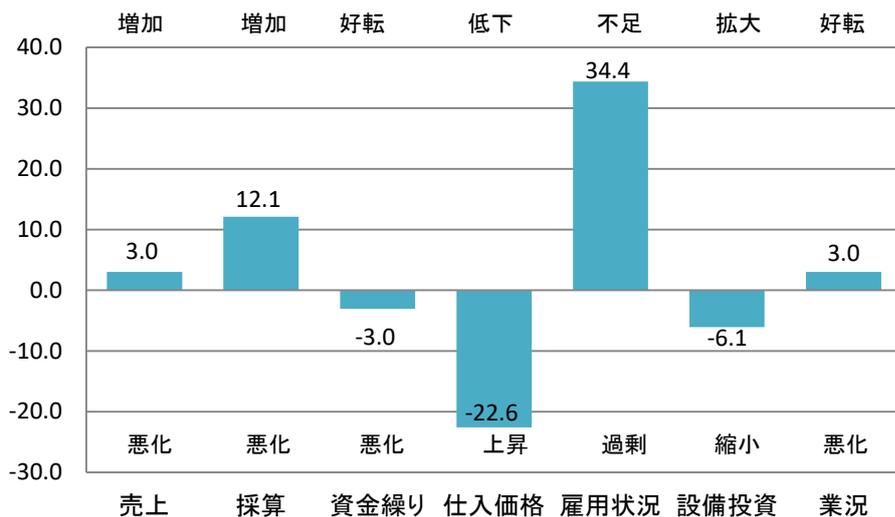


来期の見通しについて、新型コロナウイルス感染症の影響で、採算DIと業況DIの値が悪化している。  
新型コロナウイルス感染症の影響による来客減少や消費マインドの低下などが懸念されている。

## 5. 業種別の景気動向

### (5) サービス業

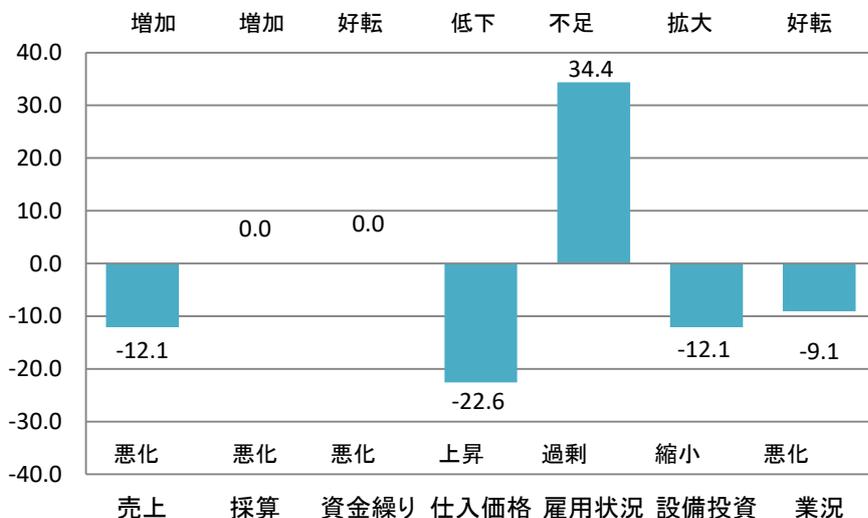
前期比(令和元年7月～令和元年9月比)



前期と比較して、仕入価格の上昇と雇用における人手不足が目立つ結果となった。

秋の行楽シーズンとなり、旅行業やタクシー業等は好転したという意見もありつつ、従業員の欠員状況の改善が見られないという意見もあった。

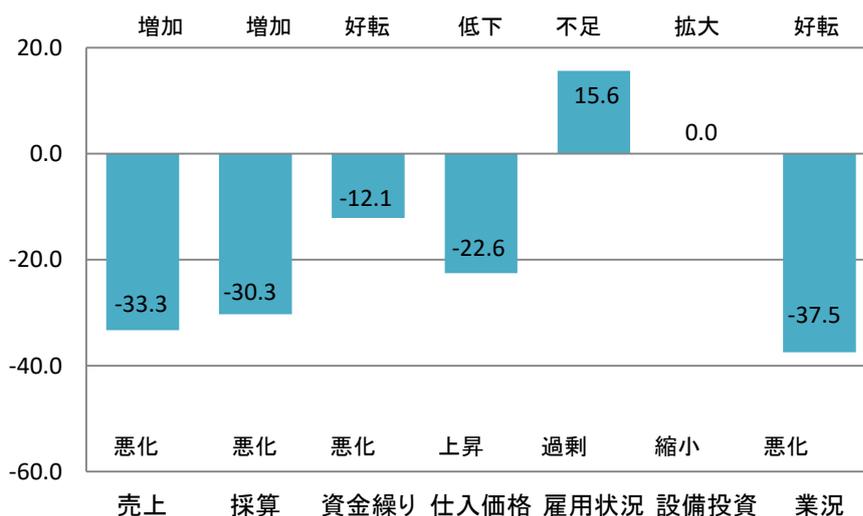
前年同期比(平成30年10月～12月比)



前年同期と比較すると、全体として、DIが悪化している。

消費税増税の影響等により、消費マインドが減少したことが悪化の原因としてあげる意見もあった。

来期見通し(令和2年1月～3月見通し)

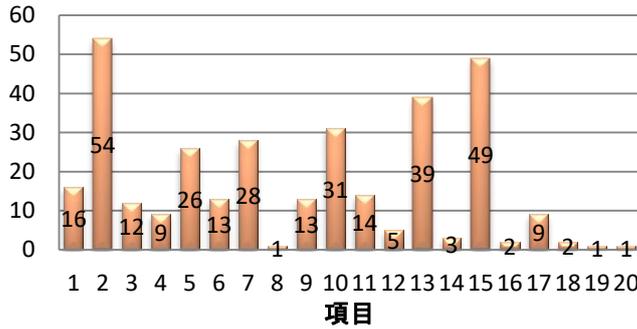


来期の見通しとして、新型コロナウイルス感染症の影響により、売上等悪化するという意見がでていた。

DIとしても、大きくマイナスを示しており、経済の悪化を危惧する声が多い。

## 6. 経営上の問題点

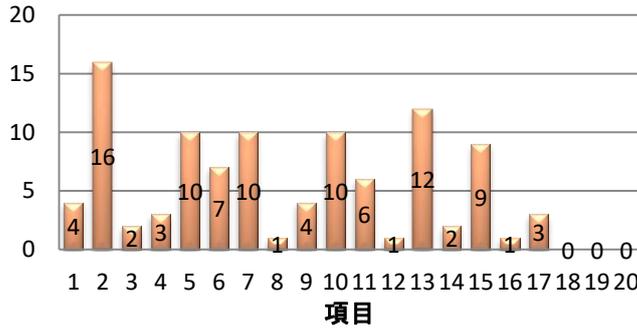
### 全業種



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 従業員の不足
- 3位 熟練技術者(従業者)の不足
- 4位 人件費の増加
- 5位 原材料(仕入単価)価格の上昇

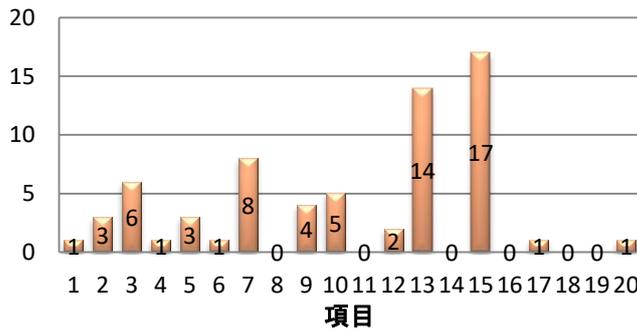
### 製造業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 熟練技術者(従業者)の不足
- 3位 生産設備の不足・老朽化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 人件費の増加

### 建設業



#### 順位

- 1位 従業員の不足
- 2位 熟練技術者(従業者)の不足
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 人件費の増加

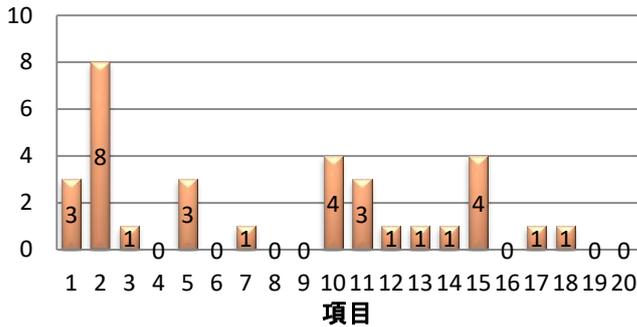
#### 項目一覧

1. 県外大手企業の進出による競争の激化
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
5. 生産設備の不足
7. 原材料(仕入単価)価格の上昇
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
11. 製品(販売)単価の低下・上昇難
13. 熟練技術者(従業者)の不足
15. 従業員の不足
17. 商品在庫の過剰
19. 円高による海外製品との競争激化

2. 需要の停滞
4. 新規参入業者の増加
6. 製品ニーズの変化
8. 生産設備の過剰
10. 人件費の増加
12. 原材料の不足
14. 金利負担の増加
16. 事業資金の借入難
18. 取引条件の悪化
20. 代金回収の悪化

## 6. 経営上の問題点

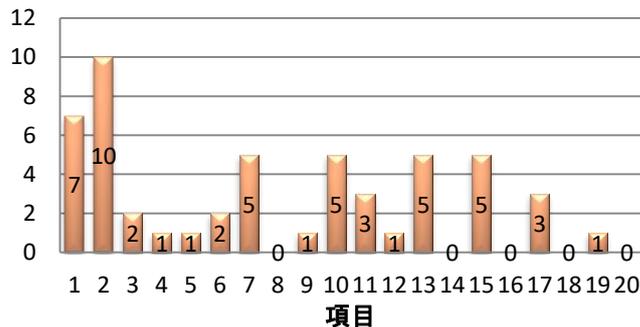
### 卸売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 人件費の増加
- 2位 従業員の不足
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 生産設備の不足・老朽化
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難

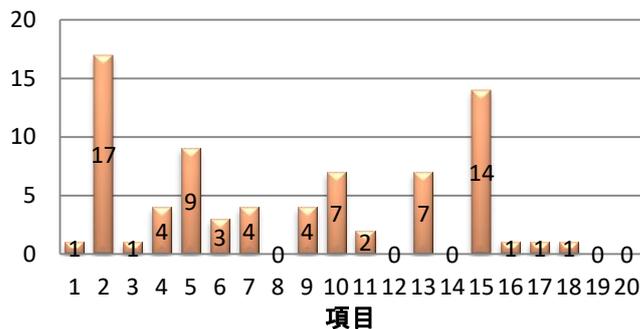
### 小売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 人件費の増加
- 3位 熟練技術者(従業者)の不足
- 3位 従業員の不足

### サービス業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 従業員の不足
- 3位 生産設備の不足・老朽化
- 4位 人件費の増加
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足

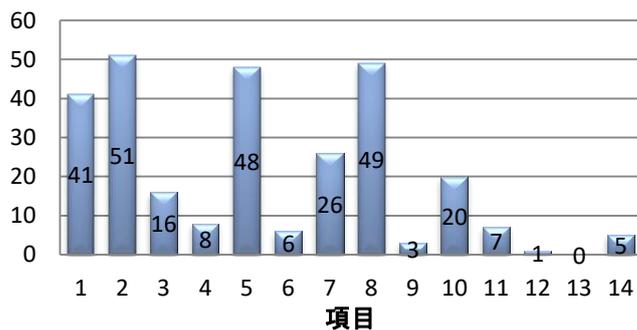
#### 項目一覧

- 1. 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5. 生産設備の不足
- 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 9. 原材料・人件費以外の経費の増加
- 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 13. 熟練技術者(従業者)の不足
- 15. 従業員の不足
- 17. 商品在庫の過剰
- 19. 為替相場による海外製品との競争激化

- 2. 需要の停滞
- 4. 新規参入業者の増加
- 6. 製品ニーズの変化
- 8. 生産設備の過剰
- 10. 人件費の増加
- 12. 原材料の不足
- 14. 金利負担の増加
- 16. 事業資金の借入難
- 18. 取引条件の悪化
- 20. 代金回収の悪化

## 7. 今後の対応策

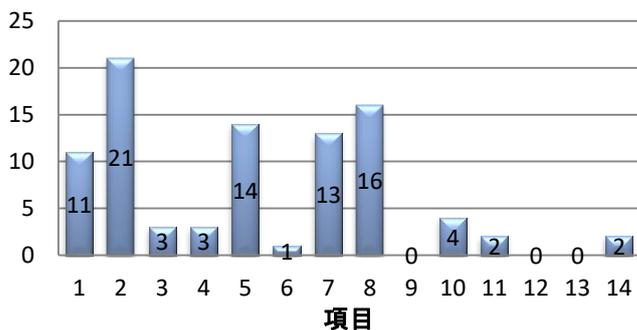
### 全業種



#### 順位

- 1位 生産性を向上させたい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 従業員を新規雇用したい
- 5位 新製品の開発を行いたい

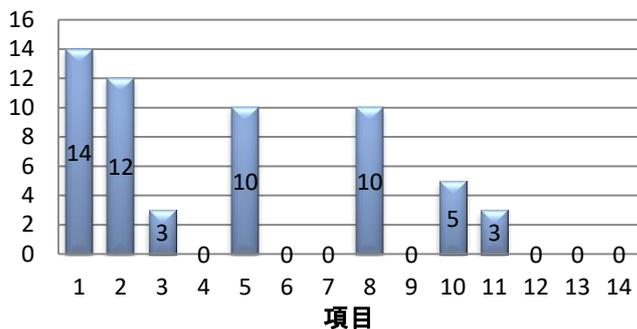
### 製造業



#### 順位

- 1位 生産性を向上させたい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 従業員を新規雇用したい

### 建設業



#### 順位

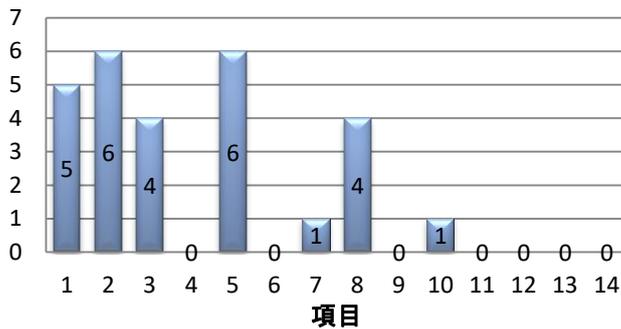
- 1位 従業員を新規雇用したい
- 2位 生産性を向上させたい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

#### 項目一覧

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい               | 2.生産性を向上させたい        |
| 3.人件費を削減したい                 | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい       |
| 6.金融機関から資金を調達したい            | 9.業種転換を行いたい         |
| 8.新規市場を開拓したい                | 11.下請け発注を減らしたい      |
| 10.経営の多角化を行いたい              | 13.海外から原料・部品を調達したい  |
| 12.海外へ生産拠点を移したい             |                     |

## 7. 今後の対応策

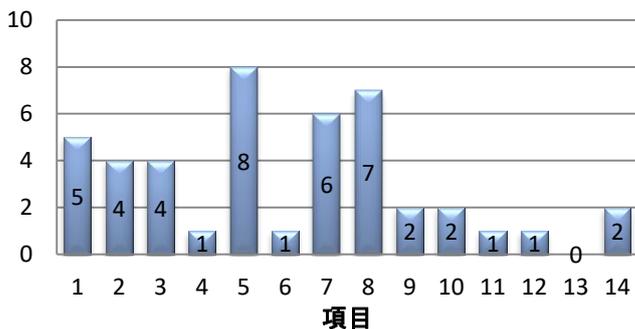
### 卸売業



#### 順位

- 1位 生産性を向上させたい
- 1位 その他の合理化を実施したい
- 3位 従業員を新規雇用したい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 新規市場を開拓したい

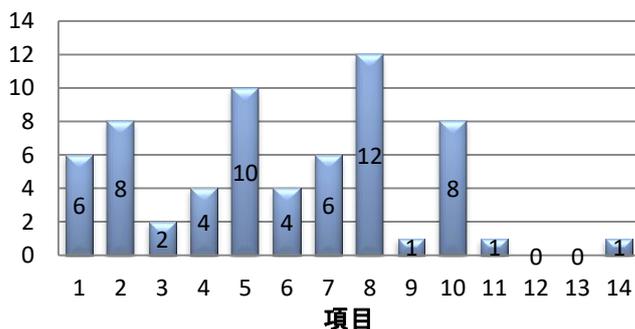
### 小売業



#### 順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 従業員の新規雇用をしたい
- 5位 生産性を向上させたい
- 5位 人件費を削減したい

### サービス業



#### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 生産性を向上させたい
- 3位 経営の多角化を行いたい
- 5位 従業員を新規雇用したい
- 5位 新製品の開発を行いたい

#### 項目一覧

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい               | 2.生産性を向上させたい        |
| 3.人件費を削減したい                 | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい       |
| 6.金融機関から資金を調達したい            | 9.業種転換を行いたい         |
| 8.新規市場を開拓したい                | 11.下請け発注を減らしたい      |
| 10.経営の多角化を行いたい              | 13.海外から原料・部品を調達したい  |
| 12.海外へ生産拠点を移したい             |                     |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
サービス業	ホテル業	都城	コロナウイルスに対する助成金の創設をお願いします。
サービス業	旅行業	都城	早急に具体的な助成金及び資金融資について詳細を決めて発表していただきたい。
サービス業	一般旅客自動車運 事業	宮崎	新型コロナウイルス感染症の影響に対しての補助金・助成金の拡充、制限の緩和を求めたい。
サービス業	民間放送業	宮崎	まずは、新型コロナウイルスの鎮静化のため、県内防疫体制の確立。その次に痛んだ県内(国内)経済に対する国からの支援。
サービス業	ゴルフ場経営	宮崎	今期は4月以降11か月連続で前年比増となり、経常利益も増加しているところ。3月はコロナによるキャンセルで売上前年割れの予想。先週の首相の発表以降、激しいキャンセル。県は国のいいなりばかりではなく、異議を呈してほしい。
サービス業	曳船事業ポ ートサービ ス	宮崎	環境の変化が早く、今後世の中の仕組みが大きく変わっていく可能性があるため、年々将来を見通すのが難しくなっていると感じている。
サービス業	不動産売買・仲介・ 管理	宮崎	努力を続けることしかない。
サービス業	飲食業	日向	飲食業は消費税の増税から客離れがおきていたことに加えて、今回のコロナウイルスの影響が大きい。今後の業績安定の為にも軽減税率の撤廃を検討してほしい。
サービス業	サービス業	日向	弊社のような木材・製材・加工業は、労働集約型事業の典型で、自動化、無人化が進まない。「外国人実習生」を雇用し、人手不足を補ってきたが、昨年その実習生の使い方が適切でないという事で全員帰国させ、急遽のその穴埋めを高額な派遣社員で人員確保しました。「木材業」への外国人実習生の実習制度を認めていただきたい。

サービス業	理美容業	西都	理容学校が閉校して理容師の雇用は望めない。品格のある高級サロンを目指すしかない。モデル店舗として、国県の補助金をお願いしたい。
卸売業	食品卸売	日向	10月以降、複数税率による事務量増加が想定以上です。早急なる税率1本化を望みます。
卸売業	青果卸	日南	気候変動による売上減少、生産者の後継者不足のため、移住者の推進をされているようですが、営業利益も希薄となり、運転資金の融資をお願いしたい。県保証協会の保証料、地銀の金利が高すぎます。
建設業	建設業	都城	新型コロナウイルスによる景気後退が見込まれる為、早め早めの対応を行政にお願いしたい。
建設業	電気工事	延岡	なんと申しまして第一に新型コロナウイルスの感染拡大への対策です。現状として公共建屋への工業作業入室禁止や作業の一時的停止等、感染の拡大防止の為、仕事が一時的に停止する事があり心配している。
建設業	建築工事業(木造含)	高鍋	新型コロナウイルスのため、住宅機器の入荷が少しずつ遅れている。状況を注視していく
建設業	建築工事業(木造含)	高鍋	建設業界全体が職人不足で危機的状況。政策として技術を守ってほしい。
小売業	衣料品・食料品他小売	宮崎	長引く増税の影響に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響が重くのしかかる。百貨店はお客様にご来店頂くことで成り立っている中で、この状況が一刻も早く収束することを祈るのみ。
小売業	酒類食料品小売業	宮崎	全国的な災害や天災があった場合の対策が遅い。中小企業が力尽きてからの救済処置だと意味がない気がする。もっと中小企業の実情を見てほしい。
小売業	食品小売業	高鍋	景気対策として何をやるにせよスピード感が不足している

小売業	LPガス販売	日南	東九州高速がいよいよ清武南・北郷間の開通が間近になりました。これから日南への流通人口が期待されます。行政・民間一体となって受け入れ準備をしていただきますようよろしくお願いいたします。
小売業	小売酒販店	日南	小さな町に大型スーパー・ディスカウント店の出店が続くことにより町の小売店は消滅し、ひいては高齢者等買い物困難となる。ローカル商品の販売が難しくなり、地域産業の衰退するのでは？
小売業	記念品販売	小林	国の介護報酬の削減により事業者は経営悪化を招きつつある。また最低賃金の引き上げにより経営を圧迫しそうである
小売業	事務機、事務用品販売	小林	サプライチェーンの崩壊により、日本経済の低迷も予想される中、競争の激化も重なれば益々利益を創造しづらくなる為、安定した政策を期待したいです。経済が混乱しないようにしてもらいたいです。
小売業	石油小売	小林	新型コロナウイルス感染のニュースが連日流れ、不安や警戒感が強まる中で、明快な対応策を打ち出してほしい
小売業	飲食業	西都	今年は景気が悪くなります。オリンピックで浮かれていると大変なことになります。日本も危険な事があるかもしれない。国民を守る政治をお願いしたい。
製造業	印刷業	都城	今後どの業種においてもコロナウィルスの影響を受け動きが鈍ってくると思う。ホテル業などは直接受ける影響が見えやすいが受注生産を主としている弊社のような業種は、これが続けば雇用過多になりかねず固定費比率も上がると予想される為、雇用の継続補助などがあるとよいと思う。
製造業	学生服製造業	都城	新型コロナウイルス対策として、マスクが必要です。アルコールも不足しております。
製造業	オフセット印刷物製造	宮崎	新型コロナウイルスの影響で、どうなるか予測できない。働き方改革など、企業運営、整備など、課題解決策を見つけるための支援をお願いしたい。
製造業	屋外総合広告看板	宮崎	新型コロナウイルスの影響で2月末から3月のキャンセルが多数出ている。その中で補助金などがあるとありがたい。4月末は資金繰りが困難になることは間違えないと思われる。